

『フードシステム研究』報告論文投稿・審査について（2021年度）

1. 報告論文

報告論文とは、大会の個別報告を元にしたコンパクトな論文で、一点でも新知見がある、あるいは新たな研究方法・視点の提起、の何れかを満たすものです。論文作成にあたっては、下記、審査のチェックポイントを参考に執筆して下さい。なお、論文は未公開のものに限ります。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）に係る研究テーマの報告論文について、特集を組む第3号（本年12月刊）への掲載が可能となります。希望者は、個別報告エントリーフォームにて、希望する旨を☑ください。

2. 審査・掲載

原則として審査員2名による2回までの審査を行い、編集委員会において採否を決定します。

また、掲載が認められた論文は、COVID-19の特集号の希望者は3号（本年12月刊）、それ以外は4号（翌年3月刊）に掲載する予定です。

3. 投稿・審査の流れ

- ①学会ホームページ上で大会への参加登録を行った上で、報告要旨を様式「報告要旨2021」に従って作成し、2021年度大会ホームページの「個別報告エントリーフォーム（3月30日開設予定）」よりエントリーと報告要旨の提出を行って下さい（**期限：5月7日（金）正午まで【厳守】**）。なお、参考文献などの書式が昨年までと大きく異なっておりますのでご注意ください。文中の引用は著者名と出版年の組み合わせで示し、引用文献一覧はすべての文献（和文・英文含めて）を筆頭著者のアルファベット順に並べます。

大会ホームページ：<https://www.fsraj.org/taikai/2021y>

- ②報告論文（4から6ページ）を様式「報告論文2021」に従って作成し、オンライン投稿審査システム（Editorial Manager）によりWordファイルで提出する。また、審査料7,000円について支払い証明書を論文と合わせてアップロードする。**【7/4（日）23:59必着】**昨年までと書式が変更されています。また、大会から1週間しかありませんのでご注意ください。（1）参考文献でなく、引用文献とする。（2）英文要旨は100ワード以内、キーワードは5ワード以内。

※修正・審査期間が限られているため、提出や支払等の遅れは受け付けません。また、混乱を避けるため、提出後の差し替えについても認めておりません。

※審査料7,000 円を学会ホームページで指定する口座に振り込み、利用明細等の証明書をオンライン投稿時にアップロードして下さい。

※振込先については学会大会ホームページにて最新情報をご確認の上、指定の方法にてお振込みをお願いします（これまでの口座情報から変更になりますのでご注意ください。）」

③9月上旬：1 回目の査読結果の通知

（COVID-19特集号へのエントリー分は、8月中旬～下旬）

④審査後、修正依頼があった場合、査読結果の通知後3 週間以内に修正原稿と対応表を作成し、9月下旬～10月上旬頃にオンライン投稿審査システム（Editorial Manager）によりWordファイルで提出する（COVID-19特集号エントリー分は9月上旬～9月中旬に提出）

⑤11 月上旬～中旬頃：2 回目の査読結果の通知

（COVID-19特集号エントリー分は10月上旬～中旬）

⑥再審査後、再修正依頼があった場合は、査読結果の通知後3 週間以内に最終原稿と対応表を作成し、11月下旬頃（COVID-19特集号エントリー分は10月下旬～11月上旬頃）に編集委員会にWordファイルで提出する。2 回目の査読結果の通知時点で、編集委員会よりネイティブチェック証明書の提出が求められた場合は、ネイティブチェックの証明書も合わせてアップロードする（ネイティブチェックについては後述）。

⑦12月上旬：最終審査結果の通知。掲載が決定した場合、所定の掲載料（4 ページの場合2 万円、6 ページの場合3 万円）を振り込む。

（COVID-19特集号エントリー分は11月上旬）

4. ネイティブチェックについて

英文サマリーおよびキーワード、英文原稿についてはネイティブスピーカーによるチェックを受けて、チェック者によるサイン付き証明書（任意様式）を添付しなければなりません。ただし、英文サマリーおよび英文原稿は必要に応じて編集委員会で修正する場合があります。

和文原稿の英文サマリーおよびキーワードのネイティブチェックの提出時期は「採択後」となります。採択前、例えば論文提出時にネイティブチェックを実施することはお控え下さい。審査によってサマリー部分に大幅な修正が入る場合があり、その場合には再度ネイティブチェックを実施する必要が生じます。2 回目の査読結果の通知時点で、採択の

可能性が非常に高い報告論文についてはその時点で編集委員会より、ネイティブチェック証明書の提出を著者に依頼させていただきます。ネイティブチェック証明書の提出の時期は審査の状況によって変わるため、編集委員会の案内をお待ち下さい。

一方、英文原稿のネイティブチェックの提出時期は「初回投稿時」となります。

5. その他

報告論文投稿規定ならびに論文投稿規定も併せてご参照ください。ご不明な点については、学会ホームページまたは学会誌編集委員会（enquiry_jfsr@ml.affrc.go.jp）までお問い合わせ下さい。

[参考] 報告論文審査のチェックポイント

1) オリジナリティについて

・いずれも満たしていない場合は不可とする。

- 一点でも新知見がある
- 新たな視点・研究方法の提起がある

2) 構成について

・著しく満たされていない項目があるかをチェックする。著しく満たされていない項目が多く、短期間で修正不可能な論文は不可とする。

- タイトルが適切である
- 研究レビューが適切である
- 研究目的が明確である
- 研究方法が適切である
- 研究目的にあった結論を論理的に導き出している
- 専門用語の使用が適切である
- あきらかな事実誤認がない
- 事例から一般化した結論を導き出している
- 計算プロセス、モデルに誤りがない

3) 体裁について

・著しく体裁が整っていない論文は不可とする。

- 日本語表現、あるいは英語表現が適切である
- 本文、図表、注釈が規定の様式に従っている